

有明工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	課題研究Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	3A001		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造工学科(建築コース)		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	後期:1		
教科書/教材	各講座において指定される					
担当教員	藤原 ひとみ,下田 誠也					
到達目標						
1. 専門に関連する課題に対して、内容を把握し、計画的に取り組むことができる。 2. 資料収集やグループでの議論等を通して、課題解決に向けて論理や考察を展開できる。 3. 課題研究の成果を、適切な方法によりまとめることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	課題内容を正しく理解し、適切な研究計画を立てて実施できる。		課題内容を把握し、研究計画を立てて実施できる。		課題内容を理解できず、研究計画を立てることができない。	
評価項目2	資料収集やグループでの議論等を通して論理や考察を展開し、結論を導くことができる。		資料収集やグループでの議論等を通して論理や考察を展開することができる。		資料収集やグループでの議論等を通して論理や考察を展開することができない。	
評価項目3	課題研究の取り組みや成果を、適切な方法により正確にまとめることができる。		課題研究の取り組みや成果を、適切な方法によりまとめることができる。		課題研究の取り組みや成果をまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 C-1 学習・教育到達度目標 C-2						
教育方法等						
概要	担当教員が開設する課題研究テーマを班に分かれて取り組み、研究活動を実践する。学生は研究テーマにおいて、研究の進め方やまとめ方等の研究手法および態度を身に付ける。 また、課題研究を行う上で必要な情報セキュリティに関しても学ぶ。 本科目は、SDGsの目標4. 住み続けられるまちづくりを に該当する					
授業の進め方・方法	授業の進め方や内容等は各課題研究テーマにおいて決定する。 成績は授業の参加状況や取り組み状況、提出する報告書および成果物等を考慮し、各課題研究テーマにおいて総合的に評価して可否で判定する。					
注意点	自主的に調査、研究、実験、製作等に取り組むという積極的な姿勢を持つこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 情報セキュリティ教育	授業全体のガイダンス 機密情報が含まれたデータの取り扱いのルールなど実践的な情報セキュリティについて理解できる。		
		2週	住まいづくり1	自分の将来の暮らし（ライフプラン）を想像しライフステージに応じた住要求を理解できる。		
		3週	住まいづくり2	他人とのライフプランを比較し、多様な暮らし方と住まい方があることを理解できる。		
		4週	住まいづくり3	ライフステージの変化に対応した住まいの計画についてグループワークによりまとめることが出来る。		
		5週	住まいづくり4（中間発表）	ライフステージの変化に対応した住まいの計画についてグループワークによりまとめることが出来る。		
		6週	住まいづくり5	ライフステージの変化に対応した住まいの計画についてグループワークによりまとめ、プレゼンテーションボードを作成することができる。		
		7週	住まいづくり6	ライフステージの変化に対応した住まいの計画についてグループワークによりまとめ、プレゼンテーションボードを作成することができる。		
		8週	住まいづくり7 発表会	ライフステージの変化に対応した住まいの計画についてグループワークによりまとめ、プレゼンテーションボードを作成することができる。		
	4thQ	9週	住まいづくり8 発表会	発表会において、計画案を分かりやすくプレゼンテーションすることが出来る		
		10週	構造体（課題No.1）の説明および作製	構造体（課題No.1）について理解できる。構造体（課題No.1）の模型を各班で話し合いながら、グループワークを行い、作製することができる。		
		11週	構造体（課題No.1）の載荷試験、構造体（課題No.2）の設計案の作成	構造体（課題No.1）の載荷試験を行い、構造体の役割を理解できる。構造体（課題No.2）の模型案を各班で話し合いながら、設計案を作成することができる。		
		12週	構造体（課題No.2）の設計案発表および作製	構造体（課題No.2）の模型案を発表することができる。構造体（課題No.2）の模型を各班で話し合いながら、グループワークを行い、作製することができる。		
		13週	構造体（課題No.2）の作製	構造体（課題No.2）の模型を各班で話し合いながら、グループワークを行い、作製することができる。		
		14週	構造体（課題No.2）の作製	構造体（課題No.3）の模型を各班で話し合いながら、グループワークを行い、作製することができる。		

		15週	構造体（課題No.2）の载荷試験		構造体（課題No.3）の模型の载荷試験を行い、構造体の模型の強さを理解する。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0